

## ◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(70歳代女性)あり、症状は肺炎です。感染地域は国内で、感染経路は医療器具です。本年の累積報告数は37例となりました。
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症の報告が1例(80歳代女性)あり、症状は発熱です。感染地域は国内で、感染経路は飛沫・飛沫核感染です。本年の累積報告数は6例となりました。
- 梅毒の報告が2例(20歳代及び40歳代男性各1例)ありました。ともに感染地域は国内、感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は62例となりました。
- 百日咳の報告が1例(30歳代女性1例)あり、症状は持続する咳・夜間の咳き込み・呼吸苦です。感染地域は国内、感染経路は不明です。本年の累積報告数は63例となりました。
- インフルエンザの定点当たり報告数は0.19(13例)、全国では0.35となっています。
- 感染性胃腸炎の定点当たり報告数が7.28(313例)となり、前週の4.07(175例)から急増しています。手洗い・うがいの励行、食品の十分な加熱、調理器具の消毒など予防に努めましょう。

## ◆ 今週のトピックス:<伝染性紅斑>

京都市の伝染性紅斑の定点あたり報告数は0.12(5例)で、前週0.02(1例)から増加しましたが、本年の推移は第40週を除いて過去5年平均値を下回っており、流行の兆しは見られません。一方、全国では0.64となっており、第34週以降、過去5年平均値を上回って推移しています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- 二類:結核 8例(肺結核 4例, 肺外結核 2例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 1例  
【1月以降の累積報告数 295例(肺結核 134例, その他結核 71例, 潜在性結核感染者 90例)うち喀痰塗抹陽性 68例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 37例】
- 五類:侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 6例】
- 五類:梅毒 2例【1月以降の累積報告数 62例】
- 五類:百日咳 1例【1月以降の累積報告数 63例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.19	13
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7.28	313
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.19	51
	③ RSウイルス感染症	0.40	17
	④ 手足口病	0.37	16
	④ ヘルパンギーナ	0.37	16
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<伝染性紅斑>

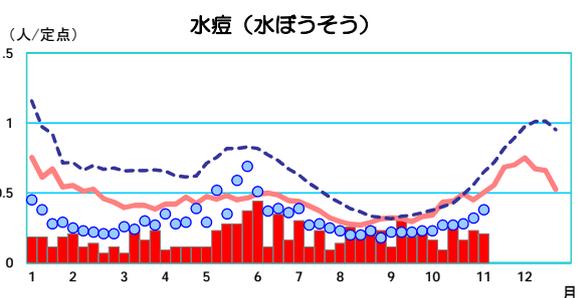
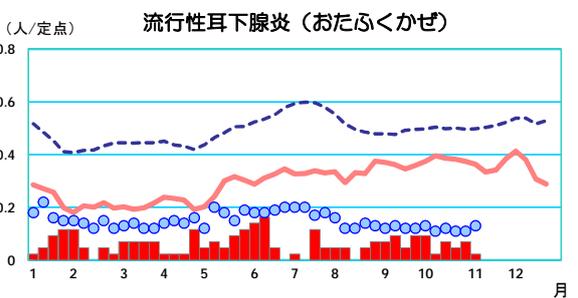
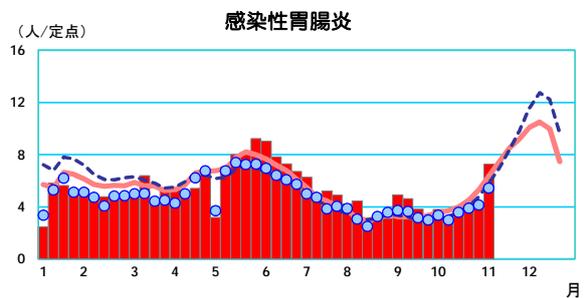
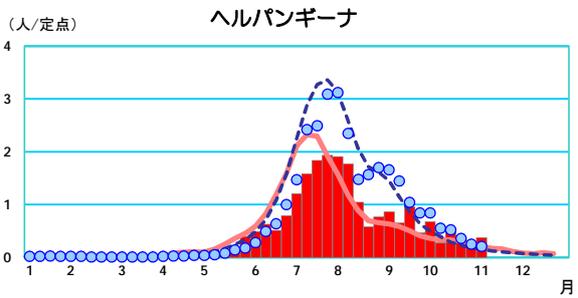
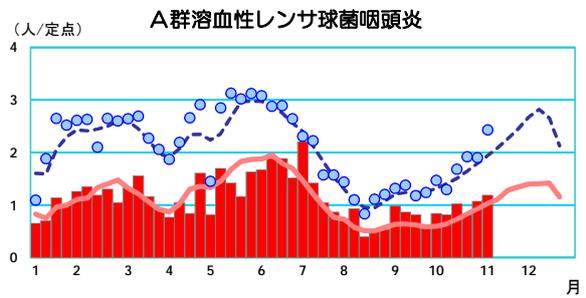
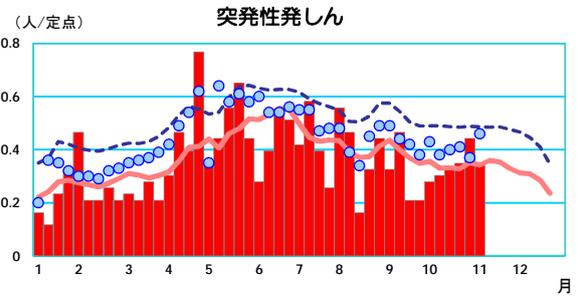
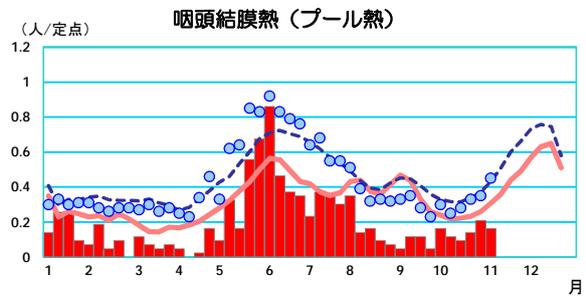
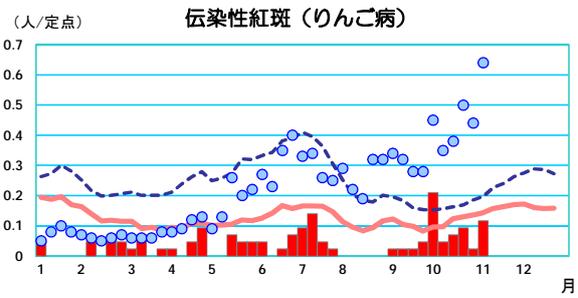
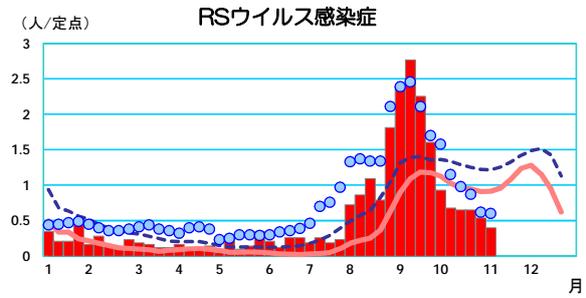
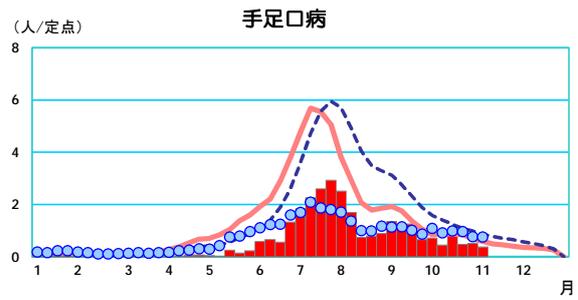
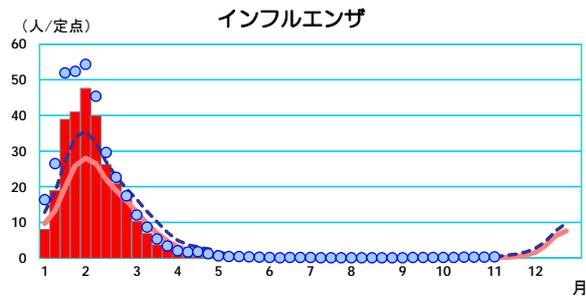
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成30年11月14日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

\* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



### 第45週(11月5日～11月11日)トピックス: <伝染性紅斑>

京都市の伝染性紅斑の定点あたり報告数は0.12(5例)で、前週0.02(1例)から増加しましたが、本年の推移は第40週を除いて過去5年平均値を下回っており、流行の兆しは見られません。一方、全国では0.64となっており、第34週以降、過去5年平均値を上回って推移しています(図1)。感染症法に基づく調査が開始された平成11年以降、京都市で流行のピークが高く、比較的大きな流行となったのは、平成13～14年、平成18～19年、平成22～23年、平成27～28年で、4～5年ごとの周期で報告数が多くなっています(図2)。過去の傾向から大きな流行に近いことが予想されますので、今後の発生動向に注意が必要です。

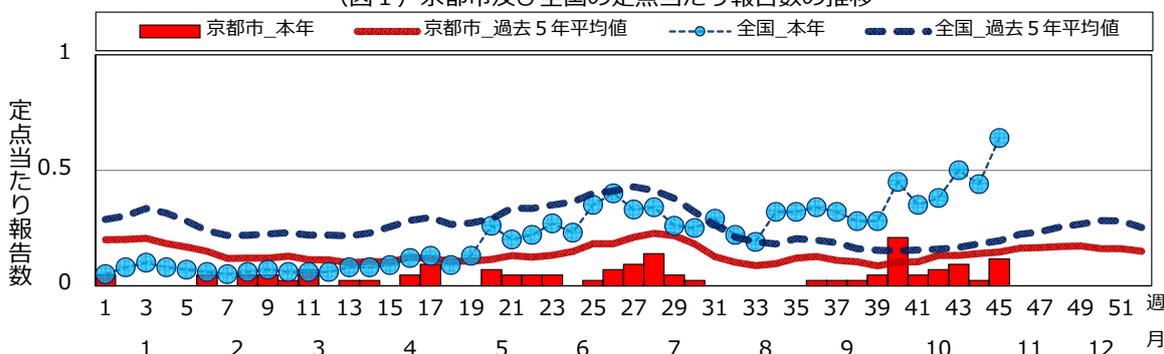
今週、定点あたり報告数の多かった上位6都県は東北地方から関東地方に集中しており、これらの都県における報告数の推移をみると、いずれも第30週頃から増加が始まっており、とりわけ宮城県では第40週に警報開始基準値の2.0を超えて、第45週には4.95に至っています(図3)。

さらに全都道府県の最近3週分の推移を見た場合でも、東北地方から関東甲信越地方において相対的に報告数が多く、「東高西低」の傾向が見られます(図4)。

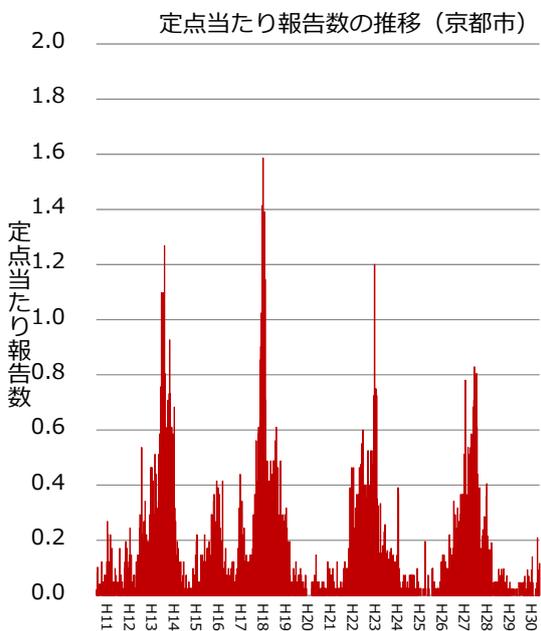
本疾患は、りんご病とも呼ばれ、10～20日程度の潜伏期間の後、両頬にりんごのような紅い発疹が現れ、続いて手足にも発疹がみられます。5歳前後の小児に多く、ほとんどは軽症ですが、成人では関節炎症状がでることもあります。患者の咳やくしゃみなどのしぶきによる飛沫、あるいは接触によって感染します。

予防接種及び特異的な治療法はありません。日頃から一般的な感染予防対策(手洗い、うがい、せきエチケット等)を心がけることが大切です。また、妊婦が感染すると、胎児の異常や流産を起こす可能性があるため、伝染性紅斑が流行した場合には、妊婦はかぜ症状の人に近づかないように注意してください。

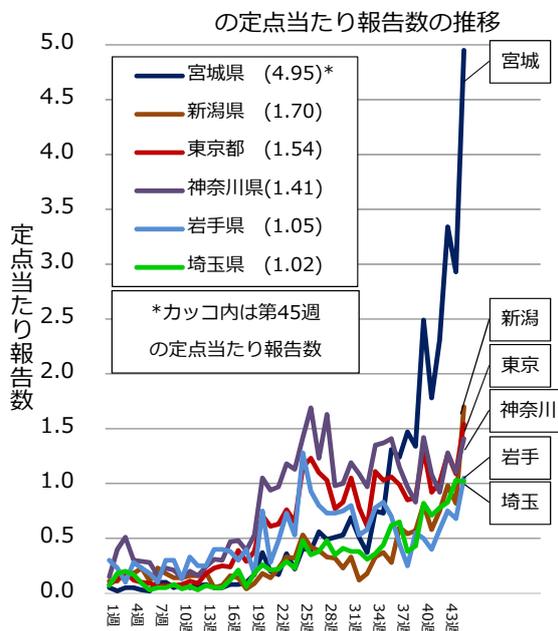
(図1) 京都市及び全国の定点あたり報告数の推移



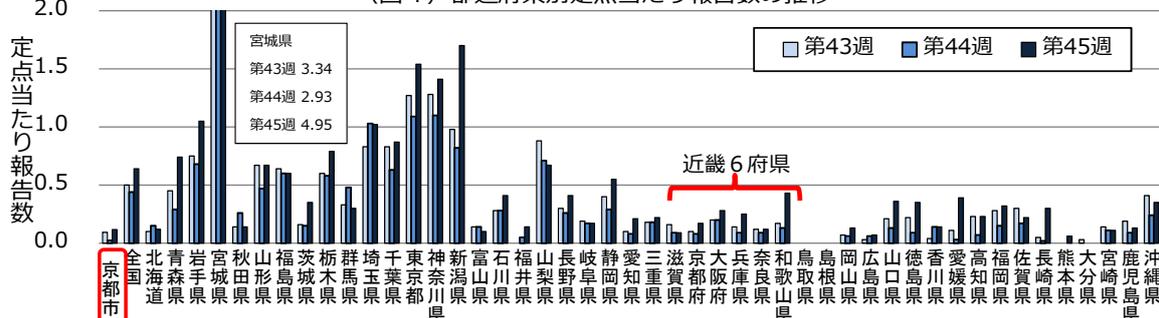
(図2) 平成11年～平成30年第45週の



(図3) 第45週における上位6都県



(図4) 都道府県別定点あたり報告数の推移



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第45週

疾病,行政区別報告数

平成30年11月5日～平成30年11月11日

データ入手日:平成30年11月14日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-	2					
北	-	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-	2					
上京	1	-	-	1	6	-	-	-	1	2	-	-	-					
左京	-	5	-	12	105	3	1	-	2	3	-	-	1					
中京	4	2	-	1	14	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	1	-	2	16	-	-	1	-	-	-	-	-					
山科	-	1	-	5	1	-	3	-	1	-	1	-	1					
下京	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-					
南	-	-	-	-	39	-	1	1	2	1	-	-	-					
右京	2	1	2	11	38	5	3	1	3	-	-	-	-					
伏見	5	3	1	11	66	1	7	1	5	1	-	-	-					
西京	-	4	3	7	24	-	1	1	1	1	-	-	-					
京都市計	13	17	7	51	313	9	16	5	15	16	1	-	4	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	0.25	0.25	0.75	-	-	-	-	-	-	-	2.00					
北	-	-	0.25	0.25	0.75	-	-	-	-	-	-	-	2.00					
上京	0.20	-	-	0.33	2.00	-	-	-	0.33	0.67	-	-	-					
左京	-	1.25	-	3.00	26.25	0.75	0.25	-	0.50	0.75	-	-	1.00					
中京	0.80	0.67	-	0.33	4.67	-	-	-	-	2.67	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	0.50	-	1.00	8.00	-	-	0.50	-	-	-	-	-					
山科	-	0.20	-	1.00	0.20	-	0.60	-	0.20	-	0.20	-	1.00					
下京	0.33	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-					
南	-	-	-	-	13.00	-	0.33	0.33	0.67	0.33	-	-	-					
右京	0.25	0.20	0.40	2.20	7.60	1.00	0.60	0.20	0.60	-	-	-	-					
伏見	0.45	0.43	0.14	1.57	9.43	0.14	1.00	0.14	0.71	0.14	-	-	-					
西京	-	0.80	0.60	1.40	4.80	-	0.20	0.20	0.20	0.20	-	-	-					
京都市計	0.19	0.40	0.16	1.19	7.28	0.21	0.37	0.12	0.35	0.37	0.02	-	0.40	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

### 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第45週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年11月5日～平成30年11月11日

データ入手日:平成30年11月14日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	13	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	1	3	3	3	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	17	3	3	5	3	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		7	-	1	2	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		51	-	-	1	3	2	4	9	9	5	6	6	5	-	1	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		313	1	25	35	31	28	25	30	19	14	10	17	25	14	39	-	-	-	-	-	-
水痘		9	-	-	-	1	1	2	2	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		16	-	1	5	4	1	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		5	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		15	-	4	10	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		16	-	2	5	4	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	1	1	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.19	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	0.01	-	-	-	0.01	0.01	0.04	0.04	0.04	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.40	0.07	0.07	0.12	0.07	0.05	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.16	-	0.02	0.05	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.19	-	-	0.02	0.07	0.05	0.09	0.21	0.21	0.12	0.14	0.14	0.12	-	0.02	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		7.28	0.02	0.58	0.81	0.72	0.65	0.58	0.70	0.44	0.33	0.23	0.40	0.58	0.33	0.91	-	-	-	-	-	
水痘		0.21	-	-	-	0.02	0.02	0.05	0.05	0.02	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		0.37	-	0.02	0.12	0.09	0.02	0.07	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		0.12	-	-	-	-	-	-	-	0.05	-	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.35	-	0.09	0.23	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		0.37	-	0.05	0.12	0.09	0.07	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	0.10	0.10	0.10	-	
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第45週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年11月14日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	3	2	11	2	4	13
RSウイルス感染症	40	29	28	28	23	17
咽頭結膜熱	7	5	4	6	9	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36	35	44	35	46	51
感染性胃腸炎	163	126	167	186	175	313
水痘	7	4	12	7	10	9
手足口病	31	19	42	20	22	16
伝染性紅斑	9	2	3	4	1	5
突発性発しん	12	13	14	15	19	15
ヘルパンギーナ	29	12	21	16	8	16
流行性耳下腺炎	4	1	3	2	3	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	13	5	7	8	6	4
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	354	253	356	329	326	467

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.04	0.03	0.16	0.03	0.06	0.19
RSウイルス感染症	0.93	0.67	0.65	0.65	0.53	0.40
咽頭結膜熱	0.16	0.12	0.09	0.14	0.21	0.16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.84	0.81	1.02	0.81	1.07	1.19
感染性胃腸炎	3.79	2.93	3.88	4.33	4.07	7.28
水痘	0.16	0.09	0.28	0.16	0.23	0.21
手足口病	0.72	0.44	0.98	0.47	0.51	0.37
伝染性紅斑	0.21	0.05	0.07	0.09	0.02	0.12
突発性発しん	0.28	0.30	0.33	0.35	0.44	0.35
ヘルパンギーナ	0.67	0.28	0.49	0.37	0.19	0.37
流行性耳下腺炎	0.09	0.02	0.07	0.05	0.07	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1.30	0.50	0.70	0.80	0.60	0.40
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	9.20	6.25	8.72	8.25	8.01	11.05

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。